



5 <del>|</del>

月

# 12月定例会日程

(会期19日間)

開会 別委員会委員、まちづくり調査特別委員会委員の選任 常任委員会委員、議会運営委員会委員、行財政改革調査特 報告、質疑、討論、採決、議案の上程、正副議長選挙、各 会議録署名議員の指名、会期の決定、決算審査特別委員長

19 16 ⊟ ⊟ 金  $\widehat{\mathbf{t}}$ 産業建設委員会 一般質問、議案質疑、委員会付託

14 ⊟ 

必

火

市長提出追加議案の提案理由の説明、

一般質問

月 文教厚生委員会

20 ⊟ 火 閉会 総務委員会

討論、採決、人事議案の提案理由の説明、採決、議員提出 議案の採決、閉会中の継続調査 の提案理由の説明、質疑、委員会付託、委員長報告、質疑、 各常任委員長報告、 、質疑、 討論、採決、市長提出追加議案

# 12月定例会の概要

予算議案7件、その他の議案3件、人事議案1件の計20件の市長提出 議案と議員提出議案1件、請願1件を審議しました。 決算認定議案18件を原案のとおり認定と決定しました。 、議決した議案の一覧については11ページをご覧ください。) また、9月定例会で継続審査としていた令和3年度各会計歳入歳出 その結果、市長提出議案はいずれも原案のとおり可決、 今議会では、条例の制定議案1件、条例の一部改正議案8件、補正 12月定例会は12月5日から23日までの19日間の会期で開きました。 議員提出議案は可決、請願は採択と決定しました。 同意と決定

### 〇議長 藤本 (第59代) 圭 議員

正副議長の選挙



○副議長(第6代) 幸坂 孝則 議員



※12月定例会で一般質問を 載しています。 行った議員は3ページに掲

# 般質問を行った議員

# 〇代表質問(乃分)4人

 $\bigoplus$ 寸 34

(あなん至誠会)

浦 (みらい阿南) 雅 俊

広

米 (経政会) 良 久

久

谷 美樹夫

福

## (市民クラブ)

 $\oplus$ 勇 〇個人質問(60分)9人

水 谷 あゆみ

佐々木 志滿子

星 加 保

金 武 渡 部 光 友 子 普

博

橋 西 Ш 本 達 幸 子 也

個人質問は抽選により決定 序は、代表質問は輪番制で、 本会議における質問の順

# 令和3年度一 般会計及び特別会計決算の審査概要

開催し、議案の審査を行いました。 を合わせた計18件の決算認定議案について、令和4年10月6日に決算審査特別委員会を 9月定例会において継続審査としていた、令和3年度一般会計及び17事業の特別会計

審査の過程で出された主な質疑等の内容を報告します。



決算審査特別委員会のようす

## 般会計歳入歳出決算

◇市補助金事業における補助 金の交付基準及び手順等に ついて

調査したうえで交付決定を 行っている。その後も事業の 目的及び内容が適正であるか リング等を行い、補助事業の 査のほか、必要に応じてヒア 件を満たしているかなどの審 類が交付要綱等で規定した条 担当課において執行してい 等に基づき、それぞれの事業 の執行に係る事務要領を踏ま 助金等交付規則をはじめ、 のような規則に基づき、どの えた各事業の補助金交付要綱 成29年度に策定した補助金等 かとの質疑があり、阿南市補 に関する基本方針及び補助金 ような手順で交付しているの 市補助金事業について、ど 補助事業者からの申請書

の説明があった。

のように考えているのか。ま どが発覚した場合の対応はど 業担当課で執行しているとの の全部、または一部の取り消 もって実地調査を行い、確認 あり、交付要件に反していな 助金の交付は、それぞれの事 としているとの説明があった。 件に反するときは、交付決定 の内容を十分精査した上で交 履行確認や実地調査を行うな する事務要領となっていると いかなど、担当課が責任を に行っているのかとの質疑が た、そうした確認はどのよう ことであるが、目的外使用な いる場合は返還を命ずること し決定を行い、既に交付して 付額を確定している。交付要 これを受けて委員から、補 事業完了後の実績報告書

の要望があった。 のではないか。担当課だけで 助金といっても財源はほぼ市 とを検討していただきたいと 審査できるよう監査する部署 執行するのではなく、公平に ク機能を働かせる必要がある とに留意し、もう少しチェッ 民からの血税であるというこ これを受けて委員から、補 一つ設け、対応していくこ

# 般質問ダイジェスト

## 市長の政治姿勢

# 市民に優しい情報発信

りやすく優しい言葉を使っ 取り組みをされているか。 残さないデジタル社会を進め るため、具体的にどのような 必要ではないか。誰一人取り 様にしっかりと伝える工夫が 場合は、できる限り分か 横文字や専門用語を使う 市民の、特に高齢者の皆

間をかけて分かりやすくお伝 用方法等について、丁寧に時 申請方法や行政手続のオンラ 使ったマイナンバーカードの 度から高齢者を対象としたス イン窓口であるマイナポータ で開催し、スマートフォンを マホ教室を市役所や各公民館 ための取り組みとして、 デジタルデバイドを解消する 生じる情報格差、 える人と使えない人との間に 、の活用方法、LINEの利 本市では、コンピューター やインターネット等を使 いわゆる 昨年

> だけたものと考えている。行 なくなるわけではない。 ビスの提供に投入するための 政サービスに限っては、その 利になることを実感していた えすることで、 従来の対面による窓口対応が 手段であると認識しており、 のことによって生み出された デジタル化を推進することは ンの活用により生活が一 定型的な業務の効率化と、そ 人的資源をよりよい市民サー スマー ・トフォ 一層便

祉部門との一層の連携のも らに拡大する懸念があること 上に注力していきたい。 普及啓発や分かりやすい表現 術を使いこなすための知識の と、当事者の方の意見なども から、デジタル推進部門と福 ては、デジタルデバイドがさ による情報発信にこれまで以 いただきながら、デジタル技 一方、民間サービスにおい

どにより、

今後のまちづくり 市民意向をより広 査やワークショップの実施な

まちづくり

阿南駅周辺まちづくり

考えるが。 り、正確な意向調査が必要と ○フォーラムを通じ、今まシンポジウムや図書館 館についての考えは様々であ の必要性や可能性を感じた市 民も多い。 まちづくりや図書 でにない図書館やまちづくり

どのように関わりたいのかな となって創造していくために る魅力的な空間を市民が主体 るまちづくりの必要性をテー の基調講演で、公民連携によ のような機能を望み、 後、駅周辺の様々なまちづ マとしたお話があったが、今 くりの課題を解消し、活力あ |去る11月27日に開催し まちづくりシンポジウム 市民の皆様が駅周辺にど 自らは

まちづくりシンポジウムの基調講演のようす (市役所 1 階あなんフォーラム)

ただき、

市民参加のまちづく

を進めていく。

ていただく場を提供させてい ともに、市民の皆様に議論し 計画等への意見反映を行うと

地域公共交通

デマンドバスの運行

的に参加していただくためず 素である。そのため、 どを把握することは大切な要 民の皆様にまちづくりに主体 調査を実施するとともに、市 においては、 新図書館基本計画の策定過程 周辺まちづくり基本計画及び 市民アンケート に従来どおりにバスを運 ができるのではないか。 由な方や免許返納者にも対応 バスを運行すれば、 行し、他の時間帯はデマンド 朝夕など通学時間帯は主

足の不自

地域住民の皆様の声をお聞き なっていることから、まずは 検討するに当たっての前提と 地域の理解と協力が、導入を さらには担い手の創出に係る 係者などで構成される地域公 民や利用者の代表者、行政関 整に加え、交通事業者及び住 バス及びタクシー事業者、バ 国に確認しているが、既存の は導入可能であるとの見解を を運行することは、制度的に 帯にデマンド型の交通モード なる。また、利用ニーズの高さ、 共交通会議での承認が必要と ス路線沿線住民等との事前調 て調査研究していきたい。 にバスを運行し、他の時間 通学時間帯は従来どお 制度導入の可能性につい

題について活発な意見交換を 代の22名の方が、図書館の課

行ったところである。

今後は、

市民アンケート調

クショップを開催し、公募に 整備に向けた第1回市民ワー 11月19日には、新しい図書館 の実施を予定している。去る していただくワークショップ 具体的なテーマについて議論

より参加いただいた幅広い世

用語解説

に応じる形で、運行経路やスデマンドバス:利用者の予約 運行する予約制のバスのこと ケジュールをそれに合わせて

### 地域活性化

## た海施労 の強みを生かし

ジャーに関する新たな取り組 みとし、民間団体と力を合わ ある。その釣りをマリンレ するためにも有効な手段で める釣りは、関係人口を獲得 る方向に進めてはどうか。 民や関係人口の創出につなげ せ、本市の海や川の恩恵を市 また、季節を問わず楽し 子どもから高齢者まで、

ことから、市民の居住満足度 である。また、市民が季節を でも、相談者から釣りに関す による経済効果も期待できる やしの効果があること、消費 感じながら楽しめることや癒 えており、本市の魅力を伝え、 る質問をお受けすることが増 移住・定住フェアやセミナー て全国的に注目されている。 売り込む強力なツールの一つ 首都圏や関西圏で開催される きるアウトドアレジャーとし 現在のコロナ禍において ŧį 釣りは3密を回避で

> がっている。 向上や地域の活性化にもつな

リンレジャー、アクティビ つなげていきたい。 住していただく移住人口へと り、さらには地域に移住・定 口へとステップアップを図 と多様な関わりを持つ関係人 とにより、交流人口から地域 何回も足を運んでいただくこ を行い、市外からの釣り人に 働で効果的にプロモーション しながら、事業者、 間事業者、団体の動向を注視 ティーの一つとして捉え、民 豊かな自然環境を生かしたマ 今後も、 釣りを本市が誇る 団体と協

# マイナンバーカード申請

が4パーセント以下となって 歳以上の全体に対する交付率

おり、他の年代に比べ低い傾

向となっている。

# の取り組み交付率向上

は 上のための今後の取り組み Q ドの交付状況と交付率向 本市のマイナンバーカー

3万5937枚で、人口に対 付枚数は、11月末時点で マイナンバーカードの交



市役所1階に開設しているマイナンバーカート 特設窓□(場所は変更となる場合があります)

する交付率は約50・8パーセ 交付状況は本市のみのデータ ントとなっている。世代別の

市単独の支援策として、国の 周知を行い、官民連携のも ドに関する情報発信の質の向 とともに、マイナンバーカー を整えていきたい。また、本 と、事業者等との連携協力を 上を図り、必要性や安全性の れまでの取り組みを継続する 得ながら、申請しやすい環境 今後の取り組みとして、こ

> 含め、 ども参考にしながら、交付率 できる支援策に取り組んでい の向上につながる効果が期待 支援策や財源措置等の活用 他市町村の取り組みな

## 公共施設の活用

## ングの次なる展開 トライアル・サウンディ

□ング終了後、公共施設の 展開を図っていくのか。 有効活用についてどのような トライアル・サウンディ

抽出はないが、総務省による

と、ゼロ歳から14歳までと85 全国の年代別データによる

もお応えしつつ、これまでの られている。こうした要望に からトライアル・サウンディ 的ではあるが、行政と連携し 業者から公共施設の活用方策 トライアル・サウンディング き、事業継続を望む声が寄せ ングに関心を持っていただ 在も多くの事業者や市民の方 きた。ありがたいことに、現 て様々な取り組みを実施して の企画提案をいただき、暫定 |トライアル・サウンディ ングを通じて、多くの事

> 導入を検討していく。 ると見込まれる案件について すべく、12月25日までとして ペースの利活用モデルを構築 本格的な民間からの企画提案 で得られた経験等を生かし、 月末まで延長した上で、公共 ングの実施期間を令和5年3 いたトライアル・サウンディ による本市ならではの公共ス 事業化を図る民間提案制度の 施設の運営等に大きく貢献す

### 用語解説

使用してもらう制度です。 を募集し、一定期間、実際に 市が保有する公共施設等の暫 トライアル・サウンディング 定利用を希望する民間事業者



阿南市トライアル・サウンディング事業 「秋の夜長マルシェ」のようす(令和4年11月5日開催)

### 土木行政

# (東西幹線道路)の整備県道富岡港南島線

増したように思うが、JRア ンダーパスから東側約300 められ、車の対向に安全性が 局との前向きな取り組みを願 に事業着手できるよう、県当 メートル区間についても早急 道路狭隘部の改良工事が進 450メートルは、県事業で 県道富岡港南島線のJ アンダーパスから西側約

が進められている。 用し、堤防上道路は一方通行 ダーパス西側の狭隘区間につ ており、早期完成に向け工事 である県において、JRアン 県道富岡港南島線は事業主体 きる形態で改良工事が行われ 道部分は対面通行でも利用で として西から東へ、既存の県 いて那賀川堤防上の道路を利 徳島南部自動車道と一般 国道55号阿南道路を結ぶ

ていきたい。

早期完成に向け工事が進められている 県道富岡港南島線(JRアンダーパス西側)

び国に対し、様々な機会を诵 して当該路線の整備の必要 体と連携を図りながら、県及 設促進期成同盟会等の関係団 き続き阿南市高規格道路等建 きない重要な路線であり、 産業発展には欠かすことので 含む東西幹線道路は、 ないが、県道富岡港南島線を 県において事業化に至ってい 早期整備を力強く要望 本市の 引

食品ロス対策

# フードバンクとの連携

区間の工事は現在のところ、

JRアンダーパスより東側

くことを期待するがどうか。 的な食品ロス対策が進んでい が連携することで、より効果 しているフードバンクと本市 必要とされる方々に提供 食料品を福祉団体を通し 無償で提供された食材や

どへの提供を通して、地域の 間有志による機運の高まりを している。 輪が広がっていくことを期待 展開をしている子ども食堂な ロスの削減が図られるととも の多様な主体と連携し、食品 係機関、関係団体や消費者等 感じている。行政としても、 渡す県南地域の拠点となる フードバンクが地域住民、関 なみ」を本市に開設され、 に、食品の受け入れや市内で 「フードバンクとくしま とくしまが、支援物資を受け 利活動法人フードバンク 去る11月30日に特定非営 民み

ともに、市としても食品ロス など、その活動を支援すると り組んでいる団体へ提供する 置し、寄附いただいた食品を めとするフードドライブに取 フードバンクとくしまをはじ 市のイベント時などの際に フードドライブの箱を設

> きたい。 の削減を積極的に推進してい

子育で支援

Q 者はどのようになるのか。 経済的支援を受けられる対象 産・子育て応援交付金事業の

パッケージとし、継続的に実 施することで全ての妊婦、 と出産・子育て応援ギフトを 援が受けられるものである。 適用者となり、計10万円の支 年度に出産された場合も遡及 年3月以前に妊娠し、令和4 の計10万円の支援が、令和4 た方には5万円プラス5万円 令和4年度に妊娠、出産され ものとされていることから 子育て応援ギフトを支給する 後に合計10万円相当の出産 本事業は、伴走型相談支援 | 令和4年4月以降に出産 された全ての方を対象と 妊娠届出時及び出生届出

### 出産·子育 て応援交付

正予算で創設された出 国の令和4年度第2次補

がら、阿南市らしい効果的か 健事業の取り組みを生かしな 問など、切れ目のない母子保 妊婦、子育て家庭への家庭訪 や妊娠中及び出産後の全ての る。こうしたことから、本市 育て家庭がより安心して出 届出時の全妊婦に対する面談 る助産師、保健師による妊娠 を行っていくこととなってい 産、子育てができる環境整備 つ、より充実した支援を実施 において、現在、実施してい していきたい。

### 環境行政

紙ごみの出し方

やメモ帳などの形のそろ るような仕組みをつくり、 及啓発してはどうか。 わない紙ごみを古紙回収でき トイレットペーパーの芯

の3つに分別し、ひもで縛る 方法でお願いしている。トイ レットペーパーの芯やメモ帳 り、市民の皆様には新聞 本市では古紙収集に当た 段ボール類、その他紙類

今後、市民の意見を受け止め

くの多様な意見があったが、

編統合の説明会では、多 市内各地域の小中学校再 教育行政

小中学校の再編統合

いため、現状では可燃ごみと 紙ごみは、ひもで縛る方法で などの形のそろわない小さな ではないかと想定される。 して出されることがほとんど は古紙として出すことが難し

成を図るため、ごみの減量化 てないで回収し、もう一度つ てる」から、「つくる」「使う」「捨 である。「つくる」「使う」「捨 紙として収集することが可能 縛って出す方法であれば、 他紙類と同じようにひもで るなど普及啓発していく。 報あなんやごみ分別アプリ等 ながる新たな古紙収集の分別 やリサイクル率の向上にもつ くる」という循環型社会の形 た紙の封筒などに入れ、その に記事を分かりやすく掲載す 方法を追加することとし、 小さな紙ごみを不要になっ 古

> る上で主軸として取り組んで ながら再編統合の計画を進め

じて、子どもたちの学びの保 取り組んでいくことが重要で な意見や提言をいただいてお 域の課題などについても様々 障に関することをはじめ、 査や住民説明会等の機会を通 める中で、アンケート調 学校再編の取り組みを進 市民の皆様と行政が共に

りよい教育環境づくりに努め 学校の現状をもとに、引き続 がら、子どもたちにとってよ て丁寧な説明と協議を重ねな き保護者や地域の皆様に対し 識している。このことを主軸 ことができるようになると認 の教育効果をさらに引き出す ながら取り組むことで、学校 題の解決に細心の注意を払い の再編に伴う様々な影響や課 供を目指すことであり、 将来を担う全ての子どもたち に置き、今後の教育の動向、 にとって最適な教育環境の提 学校再編の第一の目的は 学校

# ターの供用開始羽ノ浦スポーツセン

や市民の皆様が利用できる時 のがあるのか。中学校の生徒 外構工事など供用に向けた今 後の残事業にはどのようなも のことだが、建物周辺の 年明け1月末には完成と

A 改良工事及び水道管の布設替 事にあわせ、建物周辺の道路 階に入っている。建物本体T に向け、現在、工事の最終段 は令和5年1月末の完成 |羽ノ浦スポーツセンター



令和5年3月中旬完成予定の羽ノ浦スポー

## 学校給食の無償化 給食行政

例えば中学校から先に無子育て支援の重要性から きではないか。 にしていく施策に取り組むべ 價化するなど段階的に無償化

件費は設置者である行政負担 と規定されており、全国的に 他の施設整備費、修繕費、人 A 学校給食に係る費用負担 食材費等は保護者負担、その は学校給食法において、

旬の完成予定となっている。 完了しており、 え工事を実施していたが既に 工事のみで、 また、落成式典の開催時期 令和5年3月由 残工事は舗装 4・4パーセントであり、本 施している自治体は全体の 学省による調査において、 見ても、平成29年度の文部科

中学校とも無償化を実

期はいつになるのか。 り、内容等は、現在、計画中 は3月下旬頃を予定してお

学校の生徒は3月から、市民 ルス感染症の感染状況を考慮 ではあるが、新型コロナウイ 能となる予定である。 の皆様は4月1日から利用可 まきを実施したい。羽ノ浦中 しつつ、テープカットやお餅

るものと考えている。

今後も、厳しい財政状況を

勘案しながら、

調査研究して

だくことで負担の軽減はでき

や教育扶助の制度を活用いた な家庭に対しては、就学援助 に限られている。

また、給食費の負担が困難

市よりも規模の小さい自治体

いきたい。

# 3月定例会の予定

3月8日(水) 3月9日(木) 2月28日(火) 3月13日(月) 開会 一般質問· 一般質問 一般質問

3月20日(月) 3月15日(水) 3月24日(金) 3月14日(火) 委員会 委員会 委員会 採決·閉会 議案質疑

ります。詳しくは、議会事務日程は変更になる場合があ 局までお問い合わせください。

### 議会映像インターネット配信アドレス 本会議の生中継を https://an スマートフォン等でご覧いただけます https://anan.media-streaming.jp/



傍聴席での新型コロナウイルス感染防止と議 会のさらなる視聴機会の拡大を図るため、令和 4年3月定例会から本会議のインターネットに よる生中継 (ライブ配信) を開始しました。

パソコン、スマートフォン等で本会議の中継を 視聴することができます。

ライブ配信は阿南市議会のホームページもし くは上記2次元コードからご覧いただけます。

ケーブルテレビでも本会議の様子を生放送し ています。放送時間は午前10時から本会議終 了まで。



### 本会議の録画映像を配信しています

本会議の録画映像をパソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。 録画映像は阿南市議会のホームページもしくは上記2次元コードからご覧いただけます。

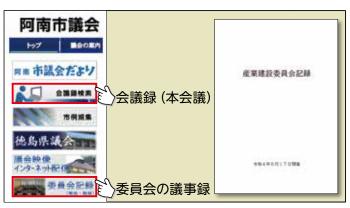
### | 会議録の閲覧ができます

阿南市議会ホームページアドレス 🔳 🕁 https://www.city.anan.tokushima.jp/gikai/



定例会での質問や答弁の内容を詳しく 知りたい方は、次の方法で閲覧できます。

- ①製本会議録を閲覧する方法 お近くの公民館、市内図書館に製本会議 録を配本しています。
- ②インターネットで閲覧する方法 阿南市議会ホームページ→会議録検索 を選択すると閲覧することができます。



### **| 委員会の議事録をホームページに公開しています**

令和4年6月定例会から開催された委員会の議事録を市議会ホームページからご覧いただけます。 閲覧が可能な委員会は次の委員会です。

常任委員会 産業建設委員会、文教厚生委員会、総務委員会

特別委員会 | 決算審査特別委員会、行財政改革調査特別委員会、まちづくり調査特別委員会

なお、ホームページへの公開は議事録が完成次第行います。(委員会終了後1か月~2か月程度)

### 意見書

意見書とは、地方自治法第99条に基づき、議会の意思を意見としてまとめた文書で、国会また は関係行政庁へ提出することができます。

12月定例会で全会一致により可決された意見書の内容は次のとおりです。

※紙面の都合により、原文から抜粋した一部を掲載しています。

### 不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための 経済的支援制度の確立を求める意見書

令和3年度の義務教育段階における不登校児童生徒数は全国で24万4,940人、徳島県で 1.327人、阿南市で196人とそれぞれ増加の一途をたどっている。

このような中、フリースクール等の民間施設を利用する際の家庭の実情をみると、利用料月3 万3千円程度(文科省調べ)という経済的負担に加え、身近に通う民間施設がない場合には遠方 への通学のための身体的、時間的、心理的負担も加味しなければならない。

多様な学習機会を提供する民間施設への需要が高まっているのに対し、民間施設を設立する ための経済的支援制度は一部の自治体が制定しているのに留まっており、必要な資金が確保で きず設立を断念している個人や団体も少なくない。

よって国において、不登校児童生徒に対して多様な学習機会を確保するため、次の事項につ いて強く要請する。

記

- 教育機会確保法制定に際し、衆議院文部科学委員会と参議院文教科学委員会がそれぞ れ附帯決議した内容である「不登校の児童生徒が、いわゆるフリースクール等の学校以外の 場において行う多様な学習活動に対しては、その負担の軽減のための経済的支援の在り方 について検討し、その結果に基づき必要な財政上の措置を講ずること」を進めること。
- 2 いわゆるフリースクール等民間施設の設立及び運営補助金等の経済的支援制度の確立 を講じること。
- 前項の経済的支援については、支援の対象となるフリースクール等民間施設の基準を明 3 確化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月23日

徳島県阿南市議会

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣

# 常任委員会での

した。以下審査の過程で出された主な質疑・意見等の内容を報告します。 12月定例会において各常任委員会では、付託された議案の審査を行いま

# 市長提出議案3件を審査

所がJR軌道敷に近接してい 路を新設するもので、工事簡 ジュールについて質疑があ 雨水排水を主な目的として水 置する市道津乃峰旧参道線に 算の関係部分で、債務負担行 下水路整備事業の内容とスケ 為が変更されている戎山都市 ◇令和4年度一般会計補正予 JR阿波橘駅の北側に位



産業建設委員会のようす

があった。 5年3月に行い、令和6年6 ジュールは、協定締結を令和 国に施工を委託する。 開始する予定であるとの説明 月までに新設水路への通水を 止対策要綱に基づき、 J R 四 スケ

### 市長提出議案14件、 文教厚生委

請願1件

援をしていかなければならな

市で育つ子どもたちは全て支

持った子どもたちの居場所づ

くりを支援するためにも、

を審査

られ、不登校児童生徒が過ご の経済的支援制度の確立を求 多様な学習機会の確保のため はこの請願は必要なことであ 受ける権利を享受するために いか。全ての子どもが教育を 徒数に対して少ないのではな ている児童生徒もいると考え スクールへの通学をあきらめ ように金銭的な理由でフリー 請願の審査では、請願にある める意見書」の採択を求める ◇「不登校児童生徒に対して るとの意見。また、多様性を せる居場所も不登校の児童牛

> 目を入れていただきたいとの を明確にするという主旨の項 経済的支援をする場合の基準 リースクール等の民間施設に

蒠見。また、公立の小中学校

に通えないという状態は、教



文教厚生委員会のようす

びの権利などを保障するため

に、不登校児童生徒への経済

える。この請願に賛成し、学

にとっても負担が大きいとい

市長提出議案5件を審査

## 的支援を国に対し、要請して いくべきではないかとの意見

受け、 後の暖房使用時の電気料金の 増加していること、また、今 るもので、今年度は電力単価 算の関係部分で、庁舎光熱水 の説明があった。 正をお願いするものであると 増加額にも対応できるよう補 温の上昇により前年度に比べ 使用時の電力使用量が、外気 のうち燃料費調整額が、為替 庁舎の電気料金不足に対応す 質疑があり、この度の補正は 費850万円の内容について していることや今年度の冷房 ◇令和4年度一般会計補正予 レートや原油価格等の影響を 前年度より大幅に増加

意見書を提出する場合にはフ

重要であるとの意見。また、 において法整備を行うことが い。そのためには、やはり国

取り組むべきではないかとの 設けるなど、もっと省エネに 舎全体の設定温度等の基準を これを受けて委員から、庁

生じることを考えれば、 3万3000円程度の負担が られていないということに加

**育費の公費負担の恩恵を受け** 

え、フリースクール等の民

施設に通う場合には、

鑑み、改めて設定温度を順守 ど節電に取り組んでいる。冷 日から始まっていることにも 全国規模の節電要請が12月1 暖房は個別に温度設定ができ 箇所、必要時間のみとするな なるよう冷暖房温度を調整し を夏場は28度、冬場は19度と 質疑があり、庁舎の室内温度 たいとの説明があった。 る部屋もあるが、政府からの ている。照明についても必要 するなどの啓発を行っていき

するなど、温暖化対策を常に さ寒さ対策は服装で体温調節 ただきたいとの意見があった。 意識し、節電に取り組んでい これを受けて委員から、暑



総務委員会のようす

### 12日定例会議決結里一覧

	12月定例会議決結果一覧	
条例議案		
第 1号議案	阿南市羽ノ浦スポーツセンターの設置及び管理に関する条例の制定について	(原案可決)
第 2号議案		(原案可決)
第 3号議案	阿南市職員の定年等に関する条例等の一部改正等について	(原案可決)
第 4号議案	阿南市立図書館図書充実基金条例の一部改正について	(原案可決)
第 5号議案	阿南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
第 6号議案	阿南市国民健康保険診療所条例の一部改正について	(原案可決)
第 7号議案	阿南市農機具倉庫条例の一部改正について	(原案可決)
第 8号議案	阿南市消費生活センター条例の一部改正について	(原案可決)
第17号議案	阿南市職員の給与に関する条例等の一部改正について	(原案可決)
	1 313 Page Cooking 2 ( Page Cooking on Page Cooking Co	
補正予算議案		
第 9号議案	令和4年度阿南市一般会計補正予算(第6号)について	(原案可決)
第 10 号議案	令和4年度阿南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第11号議案	令和4年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第 12 号議案	令和4年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第13号議案	令和4年度阿南市椿診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第 18 号議案	令和4年度阿南市一般会計補正予算(第7号)について	(原案可決)
第19号議案	令和4年度阿南市一般会計補正予算(第8号)について	(原案可決)
その他の議案		
第14号議案	指定管理者の指定について	(原案可決)
第 15 号議案	阿南市羽ノ浦屋内運動場建設工事のうち建築工事の請負契約の変更請負契約について	
第16号議案	公営住宅春日野団地6号棟建設工事のうち建築工事の請負契約の変更請負契約について	(原案可決)
人事議案		(F. C. T.)
第20号議案	財産区管理委員の選任について	(原案同意)
議員提出議案		
議第 1号	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書	(原案可決)
ביי נועגנט	五人/0主工人に対してラーはの「日成五く/地域へ)により、「地域の一直に対して、「一定に対して、「一定に対して、「一定に対して、「一定に対して、「一に対して、「一定に対して、「一にが、」に対して、「一に、対し、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対し、「一に対して、「一に対し、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に対して、「一に、」に対して、「一に対し、「一に、」に対して、「一に、」に対して、「一に、」に対し、「一に、」に対し、「一に、」に対し、「一に、」に対し、「一に、に対し、「一に、」に対し、「一に、」に対し、「一に、」に対し、「一に、」に対し、「一に、」には、「一に、」に、には、「一に、」に、「一に、」に、、「一に、」に、、「一に、」に、、「一に、、」に、、「一に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に	
請願		
請願第 2号	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願	(採 択)
	例会で継続審査となっていた議案	
第13号議案	令和3年度阿南市一般会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第 14 号議案	令和3年度阿南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第15号議案	令和3年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第 16 号議案	令和3年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第17号議案	令和3年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第 18 号議案	令和3年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第19号議案		and the second s
第 20 号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第21号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定)
第 21 号議案 第 22 号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) <mark>(原案認定)</mark> (原案認定)
第 21 号議案 第 22 号議案 第 23 号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) <mark>(原案認定)</mark> (原案認定) (原案認定)
第 21 号議案 第 22 号議案 第 23 号議案 第 24 号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市基学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定)
第 21 号議案 第 22 号議案 第 23 号議案 第 24 号議案 第 25 号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市超学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定)
第 21 号議案 第 22 号議案 第 23 号議案 第 24 号議案 第 25 号議案 第 26 号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市超学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定)
第 21 号議案 第 22 号議案 第 23 号議案 第 24 号議案 第 25 号議案 第 26 号議案 第 27 号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市翌ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和3年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定)
第21号議案第22号議案第23号議案第24号議案第25号議案第26号議案第27号議案第27号議案第28号議案第28号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定)
第21号議案第22号議案第23号議案第24号議案第25号議案第26号議案第27号議案第28号議案第28号議案第29号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定)
第21号議案第22号議案第23号議案第24号議案第25号議案第26号議案第27号議案第27号議案第28号議案第28号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定)
第21号議案第22号議案第23号議案第24号議案第25号議案第26号議案第27号議案第28号議案第29号議案第29号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定)
第21号議案第22号議案第23号議案第24号議案第25号議案第26号議案第27号議案第28号議案第29号議案第29号議案	令和3年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について令和3年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定) (原案認定)

第1回 令和4	年8月5日開催	
第 1号議案	令和4年度阿南市一般会計補正予算(第2号)について	(原案可決)
第 2号議案	不当利得返還請求に係る訴えの提起について	(原案可決)
第2回 令和4	年11月14日開催	
承認第 1号	令和4年度阿南市一般会計補正予算(第4号)に係る専決処分の承認について	(原案承認)
第 1号議案	令和4年度阿南市一般会計補正予算(第5号)について	(原案可決)
第 2号議案	令和4年度阿南市学校給食事業特別会計補正予算(第3号)について	(原案可決)

### 阿南市議会組織一覧表

令和4年12月5日現在

議長は中立公平の観点から委員会に所属していません。

	氏:	名	住 所	電話番号	所属会派
議長	藤本	圭	見能林町大作半16番地5	22-5477	市民クラブ
副議長	幸坂孝	₹ 則	羽ノ浦町岩脇阿千田67番地4	44-4964	あなん至誠会

総務委員会				
委員長	久 米 良 久	横見町高川原23番地2	22-4057	経政会
副委員長	水 谷 あゆみ	見能林町九反ケ坪7番地3	090-1324-5397 (固定電話なし)	みらい阿南
委 員	山崎雅史	上中町岡246番地	23-2281	あなん至誠会
委 員	幸坂孝則	羽ノ浦町岩脇阿千田67番地4	44-4964	あなん至誠会
委 員	住 友 利 広	宝田町梅の本517番地1	22-2337	みらい阿南
委 員	小 野 毅	那賀川町黒地492番地	42-0649	みらい阿南
委 員	沢 本 勝 彦	中大野町南傍示141番地	22-1041	経政会
委 員	福谷美樹夫	羽ノ浦町中庄段上14番地13	49-4281	市民クラブ
委 員	佐々木 志滿子	橘町荒神ノ上23番地2	27-1833	子どもと未来の会

文教厚生委員会								
委員長	渡部友子	長生町宮内9番地	22-4049	あなん至誠会				
副委員長	陶久晃一	内原町宮国33番地	49-3886	公明党				
委 員	横田守弘	内原町中分75番地1	26-0348	あなん至誠会				
委 員	湯浅隆浩	羽ノ浦町中庄かわら池19番地	44-2993	あなん至誠会				
委 員	星加美保	羽ノ浦町春日野1番地588	44-5048	みらい阿南				
委 員	福島民雄	羽ノ浦町中庄池ノ上46番地	44-4254	みらい阿南				
委員	西川達也	新野町助道103番地	49-3839	みらい阿南				
委 員	住 友 進 一	那賀川町色ケ島網干68番地	42-0617	経政会				
委員	橋本幸子	那賀川町赤池304番地4	42-0658	市民クラブ				

産業建設委員会									
委員長	武田光普	椿町平松東側2番地	33-1059	あなん至誠会					
副委員長	広 浦 雅 俊	福井町出見48番地	090-5147-5700(固定電話なし)	みらい阿南					
委 員	荒 谷 みどり	黒津地町戎野22番地	22-1157	あなん至誠会					
委 員	金久博	新野町西光寺213番地1	36-2463	あなん至誠会					
委 員	喜 多 啓 吉	富岡町トノ町28番地4	23-4322	みらい阿南					
委 員	平山正光	那賀川町黒地477番地8	21-2890	経政会					
委 員	奥 田 勇	楠根町奥山17番地6	25-0773	公明党					

議会運営委員会									
委員長	横	$\blacksquare$	寸	34	委 員	喜	多	啓	吉
副委員長	住	友	利	広	委 員	住	友	進	_
委員	Ш	崎	雅	史	委 員	沢	本	勝	彦
委 員	湯	浅	隆	浩	委 員	橋	本	幸	子
委 員	星	加	美	保	委 員	奥	⊞		勇

議会だより編集委員会									
委員長	陶久晃一	委 員	水 谷 あゆみ						
副委員長	佐々木 志滿子	委 員	沢 本 勝 彦						
委 員	金久博	委 員	福谷美樹夫						

那賀川北岸地域湛水防除施設組合								
藤	本		圭					
武	$\blacksquare$	光	普					
住	友	進	_					
幸	坂	孝	則					

行財政改革調査特別委員会											
委員長	金	久		博	委 員	福	島	民	雄		
副委員長	福	谷	美植	討夫	委 員	広	浦	雅	俊		
委 員	横	$\blacksquare$	守	37	委 員	水	谷	あり	ゆみ		
委 員	武	$\blacksquare$	光	普	委員	住	友	進	_		
委 員	渡	部	友	子	委 員	沢	本	勝	彦		
委 員	星	加	美	保	委員	奥	⊞		勇		

まちづく	まちづくり調査特別委員会										
委員長	喜 多 啓 吉	委 員	小	野		毅					
副委員長	佐々木 志滿子	委 員	西	Ш	達	也					
委 員	荒 谷 みどり	委 員	久	米	良	久					
委員	山 崎 雅 史	委 員	平	Ш	正	光					
委員	湯浅隆浩	委 員	橋	本	幸	子					
委員	住 友 利 広	委 員	陶	久	晃	_					

徳島県後期高齢者医療広域連合						
	藤	本	畫			